



【Wide】広く・【Infinity】無限な・
【Network】ネットワークの構築を継続し、
最適な【ロジスティクス】の提案により、全ての
ステークホルダーとの【WIN-WIN】を目指す
ウィンロジスティクス株式会社。世界各地の
物流スキームを提案している同社では、
海外との取引も多く、急増するサイバー攻撃の
脅威から社内システムを安全に守るために、
Sophos MDR Essentialsを採用した。

CUSTOMER-AT-A-GLANCE



ウィンロジスティクス株式会社

本社所在地 〒541-0041 大阪市中央区北浜4丁目8番4号

住友ビルディング第4号館 3階

WEBサイト <http://win-logi.jp>

ソフォスソリューションズ Sophos MDR Essentials



マルウェアの発見から防御まで、すべて自動で対応してくれるSophos MDR Essentialsには、絶大な信頼を寄せています。

ウィンロジスティクス株式会社
代表取締役社長
南井 建一 氏

2019年2月に、Door to Doorを前提として迅速・確実・安全な物流を提供するグローバルフォワーダーとして開業したウィンロジスティクス株式会社。同社は大阪に本社を、東京に事務所を構え、22名の従業員が、グローバルなサービスメニューを提供している。グローバルでの物流提案を通じて、社会の発展に貢献できる企業を目指す同社では、創業時から情報セキュリティ対策にも配慮してきた。そして、同社をサポートするITパートナーからの提案を受け、Sophos Firewallの導入をきっかけに、Sophos MDR Essentialsを採用した。

ビジネスチャレンジ

「本社の移転をきっかけにSophos Firewallを導入」

ウィンロジスティクス株式会社の代表取締役社長で、社内のセキュリティ対策にも関わってきた南井建一氏は、ソフォス製品を導入したきっかけについて、次のように話す。

「小さい会社ながら、最低限のセキュリティ対策は開業時から行ってきました。当初は、限られた人員で対応しなければならなかったため、創業から数年は必要最小限の対応となっていました。しかし、名古屋港が

ランサムウェア攻撃にあったように、物流業界にもサイバー攻撃の脅威は広がっています。そこで、2023年6月に本社を移転したタイミングで、当社のITパートナーに依頼して、セキュリティ対策に配慮したネットワーク基盤を刷新しました。そのときに、UTMにSophos Firewallを提案してもらったITパートナーを信頼して導入を決めました」。

テクノロジーソリューション

「Sophos Firewallの動作監視から不正なアクセスを検知」

ソフォス認定ゴールドパートナーの岩通アイネット株式会社で、セキュリティ対策の強化を数多く提案し導入してきたシニアアドバイザーの平野薫氏は、ソフォス製品を提案した背景を振り返る。

「ウィンロジスティクス様は、在宅勤務の方も多いため、ネットワーク基盤のセキュリティ対策を強化するには、Sophos Firewallが最適だと提案しました。導入した製品は、Sophos Firewall XGS 126です。機器の設置は、すべて当社で対応しました。設置後の運用も担い、そこでソフォスの管理コンソールから設置したSophos Firewallに対して、社内のPCから不正なログインが行われていることが分かりました。ただ、その時点ではどのPCが不正アクセスに使われているのかが、判断できませんでした。そこで、エンドポイントセキュリティ対策の強化も提案しました」。

ITパートナーからの提案を受けた管理部の原田浩宣 課長は、当時の対応を次のように話す。

「平野様からの提案を聞いたときに、正直なところ脅威の度合いを判断できませんでした。しかし、対策が必要だとは受け止めたので、社長と相談して提案を検討しました」。

ビジネスインパクト

「Sophos MDR Essentialsの導入後に2週間で脅威を発見し除去」

Sophos MDR Essentialsの導入にあたり、平野氏は「どのPCがマルウェアに感染しているのか、危険なサイトにアクセスしているのか、といった対象となるPCを特定するために、インストール方法を工夫しました。その方法とは、エンドポイントセキュリティのインストーラーを配布するときに、各PCと利用者のメールアドレスを紐付けたのです。その結果、メールアドレスとPCが連携され、管理コンソールから誰が利用しているデバ

イスか確認できるようになりました」とインストールにおける工夫を説明する。

2024年1月から運用を開始したSophos MDR Essentialsは、導入からわずか2週間で大きな成果を上げた。原田氏は「Sophos MDR Essentialsの運用と管理コンソールの運用は、ITパートナーにお願いしています。運用を開始してから2週間後の1月29日に『Sophos MDR Essentialsがマルウェアを発見すると同時に防御した』という連絡をもらいました。」



ウィンロジスティクス株式会社
管理部 課長
原田 浩宣 氏

おそらく、自分たちでは対処できない問題だったので、Sophos MDR Essentialsを導入しておいて、本当によかったと社長にも報告しました」と実績を話す。報告を受けた南井氏も「ITパートナーを信頼して、Sophos MDR Essentialsを選んでよかったと思いました。ITに精通したスタッフがいないので、最新のサイバー攻撃を常に監視して自動で守ってくれるSophos MDR Essentialsの存在は、とても頼りになります。中国をはじめとして、海外とのやり取りやサイトへのアクセスも多いだけに、これからもサイバー攻撃の脅威を防いでくれると信頼しています」と評する。

フューチャービジョン

「Sophos Firewallのアップグレードなどさらなる安全性を追求」

岩通アイネット株式会社でウィンロジスティクス株式会社を担当している営業部課長代

理の吉田章人氏も、より安全な対策を提案し続ける大切さを次のように話す。

「Sophos MDR Essentialsによる効果的な対策に加えて、UTMを多重化するといった冗長構成も、予期しない機器の故障などに対応する方法として、有効だと提案しています。また、最新のサイバーセキュリティに関する情報をお伝えして、これからも安全な運用をサポートしていきたいと考えています」。

今後に向けた取組について、南井氏は「機会があれば、取引先などにもSophos MDR Essentialsを勧めていきたいと考えています。国際物流は国内外と頻繁に連絡や取引を行っているので、関連する企業がサイバーセキュリティを強化してもらえたら、より安全なネットワークを築けると思います。すでに、Sophos Firewall XGS 126をSophos MDR Essentialsによって監視・検知・対応を行えるような提案ももらっているので、検討をすすめていきます。今後もITパートナーには、最新の脅威に備える提案を続けてもらいたいと期待しています」と話す。

